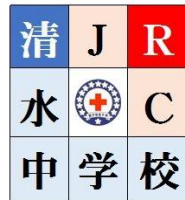


JRCだより

(青少年赤十字 Junior Red Cross)



文責：JRC担当 江口

後期が始まりました

10月10日(火)から後期が始まりました。後期には福島ひまわり里親プロジェクトで取った種を福島に送るなどの計画があります。JRC委員は年間を通して同じ生徒が活動します。1年生は少しずつJRC活動について分かってきたでしょうか。2・3年生は更に高い意識をもちながら後期も活動してほしいと思います。

青少年赤十字について知ろう⑧

赤十字の基本原則について

赤十字が活動する上で大切にしている基本原則があります。

- 人道 世界の人々が互いに理解しあい、仲良く助け合って平和な世界をつくることに協力します。
- 公平 国や民族、宗教による差別をしません。最も苦しんでいる人から助けます。
- 中立 いつでもみんなから信頼されるため、争いのときにどちらの味方もしません。
- 独立 国の助け合い活動に協力し、法律に従いますが、赤十字の原則によって自主的に行動します。
- 奉仕 苦しんでいる人たちのことを考えて行動し、それらの人々の支えになります。
- 単一 どの国にも赤十字はひとつだけしかなく、その国全てにわたって活動します。
- 世界性 世界中の国でつながりを持ち、常に協力しあいます。

赤十字には世界的に活動している団体なので、一見規模の大きな基本原則のように感じるかもしれませんが、学校生活に置き換えて考えることもできそうですね。

帰国報告会がありました

青少年赤十字の海外研修へ清水中学校から中国・上海へ2名、韓国・坡州市へ3名の生徒が参加しました。その帰国報告会が10月17日に行われました。また、韓国・坡州市からは清水中学校の生徒のパートナーとして、3名の生徒が8月9日の登校日に清水中学校へ登校し、日本の学校生活を体験しました。

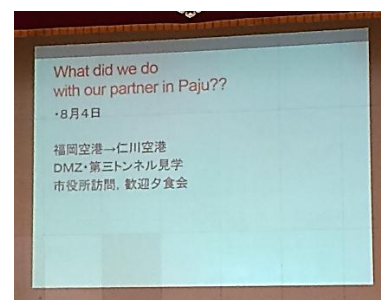
以下、帰国報告会で発表した生徒の言葉です。

お互いに第2言語となる言葉を話したため、パートナーのわからない英単語があった時は正直大変でしたが、そこで諦めずに、伝わるよう努力することが大事だと気付きました。自分の持っている英語力の中で伝えることができなかつたときには、簡単な英単語を考えて、並べていくだけでも相手に伝わることを学びました。



県外へ旅行もしたことのなかったけれど、これらの貴重な経験は私の持っている視野を広げてくれるので、長期留学への憧れを抱いています。

紅十字会は大きく、幅広い面で活躍をしていることがわかりました。ですが、日本で行われている学校単位でのJRC活動は紅十字会に劣っていないと感じます。そこは、JRC活動が誇れるものだとも思うので、今後がんばりましょう。



どちらの研修でもやはりコミュニケーションの難しさ、英語の重要さが印象に残った様子でした。また、それぞれの国の文化の違いも学び、お互いの文化を尊重し認め合うことが大切さを肌で感じてきたようです。海外研修に行ったことで、それぞれの生徒に新たな目標や決意が生まれたことでしょう。これから清水中学校のJRC活動をはじめとする様々な面で活躍してほしいと思います。